

令和8年可児市長選挙 立候補予定者アンケート

平田 亮 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、可児市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

大いに期待しています。少子高齢化、子育て、介護、孤立など地域課題が多様化する中、行政だけではすべてを解決することは困難です。NPO や市民活動団体には、地域に入り、市民の小さな声や「制度のすき間」にある課題を見つけ、柔軟な発想で行動できる強みがあります。私は NPO 等をまちづくりを共に担うパートナーと考えます。市民が提案し、市民が動き、行政が支える。自治会、NPO、企業、学校などがそれぞれの力を持ち寄り、市民と行政が one team で作る可児市を目指します。

2) NPOやボランティア団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体が可児市にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。「まちづくり活動助成」や「可児市市民公益活動センター Meets」の設置など、地域づくりに取り組む団体への支援も行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、補助等資金的な支援も含めて活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの支援施策等がありましたら、具体的にお答えください。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

NPO は、行政だけでは届きにくい地域課題に柔軟に対応できる、まちづくりの重要なパートナーだと考えます。活動助成については、立ち上げ時だけでなく、優れた活動を継続・発展させるための支援も検討します。また、資金面だけでなく、公共施設等の活動場所の確保、情報発信、人材育成、団体同士や企業との連携を支援します。さらに、市民活動から生まれた優れた取り組みを行政が評価し、協働事業として市全体へ広げられる仕組みを整え、「市民のアイデアを市政につなげる」環境づくりを進めます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

可児市では「市民参画と協働のまちづくり条例」を定め、協働によるまちづくりが進められています。今後も、NPO等との協働関係を築き、協働関係を発展させていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

NPO を行政の事業を補完する存在ではなく、地域課題の解決を共に担う対等なパートナーと位置づけます。そのため、NPO、市民、企業、行政が定期的に地域課題を共有し、解決策を話し合う場を設けます。また NPO 等からの提案を行政が受け止め、担当部署と速やかにつなぎ、必要に応じて協働事業として実践できる仕組みを強化します。行政がすべてを決めるのではなく、市民の知恵と行動力を生かし、行政が支えることで、「市民と行政が one team 可児市」を目指します。

ご協力ありがとうございました。